

令和 8 年度 大会内容の変更について（連絡）

令和 8（2026）年度から内容が変更となる大会がありますので、御確認ください。

●大会名：全日本高校選手権大会予選

- ・これまでの夏季大会・全日本選手権一次予選・代表決定戦を合わせて一連の大会とし、当部に加盟する **全ての選手が「春の高校バレー」を目指す大会**と位置付ける。
- ・日程は、8 月二日間の試合を第 1 ラウンド、9 月の試合を第 2 ラウンド、10 月の試合を第 3 ラウンド、11 月の試合を代表決定戦とし、5 日間で実施する。
- ・ **全ての加盟校に出場資格があり、3 年生も出場が可能**である。
- ・総体予選ベスト 16 のチームをシードとし、ベスト 32 の 16 チームを準シードとする。
9 位・13 位シードは第 2 ラウンドから、ベスト 8 は第 3 ラウンドからの出場となる。
なお、今大会の結果は、新人選手権大会のシードに反映させる。
- ・会場：熱中症対策として、これまで通り空調のある会場を確保して実施する。
- ・ボール：総体予選に準じたボールを使用する。（切り替えは新人選手権大会とする。）
- ・参加費：大会参加初日に 7,500 円を支払う。（東京都代表決定戦は別途参加費が必要となる。）

●全日本高校選手権大会予選のレギュレーションについて

- ・4 つのブロックに分けて行い、上位 4 チームを決定する。（東京都代表決定戦に出場）
- ・総体予選ベスト 32 の 16 チームを振り分ける。（第 1 ラウンドから出場）
- ・総体予選ベスト 16 のチームをシードとする。
なお、9～13 位は第 2 ラウンドから出場、ベスト 8 は第 3 ラウンドから出場とする。
- ・熱中症特別警戒アラート等で中止となった場合、シードや試合の取り扱いは以下のとおりとする。
 - ①第 1 ラウンド前に中止→第 3 ラウンド（総体予選ベスト 16 以上出場）から実施する。
※総体予選ベスト 32 の 16 チームを新人選手権の 17 位シードに入れる。
 - ②第 1 ラウンド途中（1 日目終了後）に中止（第 2 ラウンド前の中止含む）
→第 3 ラウンド（総体予選ベスト 16 以上出場）から実施する。
※それまでの結果を有効とする。（ベスト 32 が敗退した場合、新人選手権ではその部分を空位とする。）

●全日本高校選手権大会予選のレギュレーションについて（イメージ）

